

令和4年度第1回労働教育協議会会議録

1 開催日時 令和4年7月5日 午前10時00分から午前11時30分

2 開催場所 浜松市役所 本館8階 第5委員会室

3 出席状況

委員（10人）

藤崎 淳（ふじさき あつし）委員	高林 圭吾（たかばやし けいご）委員
鈴木 栄吾（すずき えいご）委員	鶴見 英人（つるみ ひでと）委員
塩澤 悟（しおざわ さとる）委員	楠崎 智絵（くすざき ちえ）委員
古内 忍（ふるうち しのぶ）委員	廣瀬 格也（ひろせ かくや）委員
三浦 徹（みうら とおる）委員	坂本 和美（さかもと かずみ）委員

事務局（4人）

産業部長 藤野 仁
雇用・労政担当課長 田中 言彦
副主幹 増田 廉太郎
中村 浩章

欠席委員 なし

4 傍聴者 1人

5 議事内容 （1）委員長、副委員長の選任について
（2）令和3年度労働・雇用に関する取組みについて
（3）令和4年度労働・雇用に関する事業について
（4）その他

6 会議録作成者 産業振興課 中村浩章

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 有・

8 会議記録

- 1 開会（雇用・労政担当課長）
- 2 委嘱状交付（産業部長）
- 3 あいさつ（産業部長）
- 4 各委員自己紹介
- 5 （１）委員長及び副委員長の選任について（雇用・労政担当課長）
委員長に藤崎委員、副委員長に楠崎委員が選任。
- 6 委員長、副委員長あいさつ
- 7 議事
（藤崎委員長）
（２）令和３年度労働・雇用に関する事業について
（増田副主幹）
資料に基づき説明。

（藤崎委員長）
説明について質問等はあるか。

（委員）
特になし。

（藤崎委員長）
（３）令和４年度労働・雇用に関する事業について
（増田副主幹）
資料に基づき説明。

（藤崎委員長）
説明について質問等はあるか。

（委員）
特になし。

（藤崎委員長）
（４）その他
（藤崎委員長）
せっかくの機会なので情報交換の場としたい。
内容は問わないので、意見や職場での課題等を聞かせ願いたい。

（古内委員）
コロナ禍における新しい生活、仕事への変革に対し、労働・雇用に係る事業にどのような課題があり、今後どのような方向性で実施するのか。

(雇用・労政担当課長)

浜松地域の経済を持続的に発展させるため、人口減少に伴う人材不足にどう対応するかが課題と認識している。

令和3年度、4年度の事業報告で申し上げた通り、UIJターン就職の促進や女性の就職促進に取り組んでいる。

今後の人口減少に対応するため、高齢者・外国人など多様な人材が浜松市に定着し、活躍できるよう、人材獲得に取り組んでいく。

(高林委員)

就労支援事業の中に高校生を対象とした事業があるが、小中学生を対象に職業に対する理解を深める事業を今後さらに展開する予定はあるか。

(雇用・労政担当課長)

中学生向けに出前講座として働くことを考える講座を年間5校程度実施している。

職業選択や、浜松市の産業構造について解説している。

(鈴木委員)

高校生就業体験奨励金は大学生のインターンシップは対象にならないか

(雇用・労政担当課長)

高校生のみを対象としている。

補助金は出ないが、大学生向けのインターンシップはインターンシップコーディネート事業にて学生とのマッチング等の支援をしている。

(藤崎委員長)

アフターコロナに向けて工夫していることがあれば教えていただきたい。在宅勤務が増加したが、対面で何かをやりたい時に相手が会社にいなくて多くなり、どうするか課題になっている。

(塩澤委員)

製造業のため、現場の生産人員はテレワークが難しかった。

事務職員はコロナ対策としてテレワークを実施した。

取引先との対面での会議等ができなくなったためスペース自体がなくなりつつあり、対面だけでなくとも仕事ができるという意識が生まれた。

今後、コロナが落ち着いた後の出社とテレワークの比率が課題。

(廣瀬委員)

労働基準監督署として長時間労働の是正に取り組んでいる。

コロナ禍で長時間労働が減ったわけではなく、増えた企業もある。

労働関係法を雇用者に理解してもらう必要があり、周知が課題。

リモートワークが一時的に普及したが、コロナ前に戻りつつある。

業種によってできない、と考えるのではなく、柔軟に考えて導入してほしい。

(鶴見委員)

採用施策だけでなく、入社後のスキルアップのための施策はあるのか。

(雇用・労政担当課長)

氷河期世代や女性向けの就労事業ではセミナー等でスキルアップにつなげることを目的としているが、専門性の高い研修ではなく、基礎的な内容で行っている。

(鶴見委員)

国・県・市でそれぞれ事業を行っているが、別々に広報している。全てをまとめて閲覧できるポータルサイトなどが必要ではないか。

(雇用・労政担当課長)

国や県からの依頼に応じて、浜松就職・転職ナビJOBはま！にて広報している。

(鶴見委員)

高校生向け事業は、高卒就職者ではなく、進学予定者をターゲットにしたほうが良いのではないか。

(雇用・労政担当課長)

産業人材獲得事業の中で、進学予定の高校生向けの浜松市内企業の周知を実施している。

(三浦委員)

ハローワーク浜松でも離職者向けの職業訓練を実施している。
在職者訓練は東海職業能力開発大学校浜松校でも実施している。
新卒応援ハローワークで模擬面接を実施しており、リモート面接の練習も実施しているが、学生からの予約は多い。

(藤崎委員長)

他に何か意見等はあるか

(委員)

特になし。

(藤崎委員長)

これにて議事を終了とする。